

# ウトナイ湖通信



No.228

2023年5月号



例年5月上～中旬、ウトナイ湖周辺ではエゾヤマザクラの花が見られる

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。そのほりにあるウトナイ湖野生鳥獣保護センターから、情報をお届けします。

## 5月のイベント情報

### 【春の渡り鳥 DAY】2023年5月13日(土)

越冬地で過ごした野鳥が、春に続々と北海道に渡ってきます。春の自然を楽しむフェスティバルです。

◆要申込イベント:5/2～5/12の9時～17時まで電話で当センターへ。(月曜休館)



①「春の野鳥ウォッチング・色鮮やかな美しい野鳥

観察を楽しむ」10:00～12:00/先着20名

定員対象:どなたでも

②「親子で春の野鳥探し・耳を使って野鳥を探そう」

14:00～16:00/中学生以下とその保護者先着20名

### ●当日参加できるイベント

#### ★「どんなさえずり・渡り鳥カード配布」

カード配布:11:00～13:00(道の駅)

9:30～16:00(当センター)

野鳥の写真が載っているカードを配布します。館内でその野鳥の声を聞いてカードに書き込みましょう。

#### ★「ボランティアミニガイド」

ボランティアメンバーがいる時間帯は、ウトナイ湖の自然などについて聞くことができます♪ 時間によっては、屋外の案内が可能な場合もございます。

#### ★「渡り鳥の重さ体験コーナー」

9:00～16:00

春にウトナイ湖へ渡ってくる野鳥の重さの重りを持って、野鳥の重さを体験してみましょう。



### お気軽ガイドウォーク

5月14日(日)10:30～11:30

(荒天時は館内ガイドウォークに変更)

定員:先着10名程度

対象:どなたでも

(小学生以下保護者同伴)

事前申込:なし直接当センターへ



### 野鳥のポンポン人形作り「キビタキ」

5月20日(土)

①11:00～/②14:00～

各回:先着4名

対象:高校生以上

事前申込:5/3～5/19 当センターへ



### アイロンビーズで夏鳥を作ろう

5月27日(土)※1組につきキビタキ、

ノゴマ、カワセミから2つまで作れます。

①11:00～/②14:00～

各回:先着4組

対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)

事前申込:5/6～5/26 当センターへ



### 市民ギャラリー

## 第19回 笠水上 徹明 写真展

会期:4月30日(日)～5月14日(日) 展示:笠水上 徹明 氏

内容:昆虫などの生きものの写真展示

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時～午後5時 / 入館無料

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



～ウトナイ湖～

・国指定鳥獣保護区特別保護地区

・ラムサール条約湿地

・東アジア・オーストラリア地域

・フライウェイ・パートナーシップ

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



## キクイタダキ

原因：粘着物付着

体重 5 g



4月 12日 市内の会社敷地内で飛べずにいたところを市民が発見し、保護。一晩様子を見たが、飛ぶようにならなかったと当センターに電話相談があり、搬入となる。

4月 13日 初診では、明らかな外傷は認められなかったが、右翼と右側尾羽に粘着性物質の付着を確認し、除去を行った。

また、保護から1日以上、何も摂取していないことから、赤虫等の給餌を施した後、リリースとした

リリース

### キクイタダキ (スズメ目 キクイタダキ科)

全長10cm。成鳥の上面はオリーブ褐色で、頭頂には黒い線で囲まれた黄色部があります。オスはその中に、さらにオレンジ色の線がありますが、野外では見えないことも多いです。今回のキクイタダキは、オレンジ色の線はなかったため、メスと思われます。針葉樹林や針広混交林などで生息しています。

## トピックス



### 当センターの展示がリニューアルしました

当センターは3月下旬に展示改修工事を行ない、新たな姿に生まれ変わりました。ウトナイ湖の自然が映し出されるスクリーンや野鳥の声が聞こえる鳴き声ライブラリーなどのデジタルを活かした展示に加えて、ウトナイ湖で見られる28個体の野鳥の剥製も並びました。また写真が撮れるフォトスポットもあります。展示を通して、ウトナイ湖や北海道の自然に興味をもっていただければ幸いです。



### 登録ボランティアフォローアップ研修を開催

今回は自然観察会での案内(ガイド)の練習を行ないました。3グループごとに、参加者役に紹介する観察資源を選び、解説と担当を決めて、いざ実践です。春ならではのアキタブキやバッコヤナギの花、寒い冬を乗り越えたフッキソウについて、参加者役を前に紹介しました。今後は、今回の研修の経験を、実際の観察会でも活かしていただきたいと思います。



## ボランティアコーナー

傷病鳥獣救護のケージを作る際に工夫している点は？

ご自身の技術を活かして傷病鳥獣救護用ケージや展示物の制作、救護施設の美化、イベントサポートなどを10年以上にわたり行なってくださっているボランティアの熊野さんにインタビューしました。

清掃や移動しやすいように『軽量』『コンパクト』であることや、制作後も獣医師や救護員が使いやすいように改良することもあります。

【技術を活かして】熊野雄二

ボランティア活動で思い出に残っていることはありますか？

使われなくなったシマフクロウの人工巣箱を獣医師に展示に使えないかと相談されて、かなりボロボロだったものを直して館内に展示できたことです。



シマフクロウ用の人工巣箱を展示用に直す熊野氏

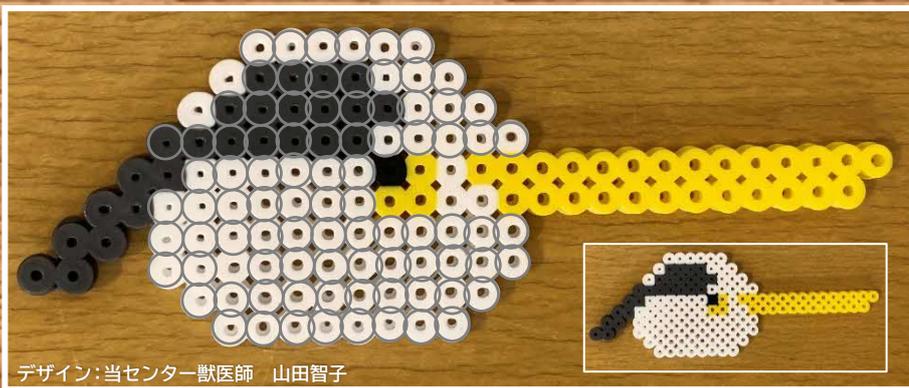
様々な活動をしてくださっていますが、どのような想いで、活動をされていますか？

なるべくお金をかけず、あるものを工夫して使用するようにしています。鳥獣保護は一般にあまり知られていない活動なので、来館された方にどういう行動が野生鳥獣の保護活動に繋がるかを伝えたいです。

## 【ウトナイ湖・野鳥グッズを作ろう】

ウトナイ湖に春に渡ってくる夏鳥「アオサギ」を作ってみよう♪  
写真と同じ位置に、アイロンビーズを並べて作りましょう。

## ウトナイ湖 お楽しみコーナー



アオサギ

デザイン: 当センター獣医師 山田智子

※アイロンビーズは、カラフルなビーズを並べてアイロンの熱で接着するビーズです。水で接着するアクアビーズでも同じデザインを楽しめます。

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



Twitter



# レンジャーのおすすめ自然情報



【キビタキ】

全長 14cm、写真はオス。  
メスは茶褐色。  
オスは「ピュリリッ、ホーヒッヒー、ホーヒッヒー、ホー」とさえずる。



【クロツグミ】

全長 22cm、写真はオス。  
メスは茶褐色。  
オスは「キョロン、キョロン、チヨコ、チヨコ」とさえずる。



【キジムシロ】

2cmほどの黄色い花が咲く。葉は地面に沿うように伸びる。林の中の日当たりが良い場所に咲いていることが多い。



【フデリンドウ】

リンドウと名がつくものの、その花は2cmほど。地面に咲くがとても小さい。広場などの日当たりのよい場所に咲く。

林では春に越冬地から渡ってきた「夏鳥」のキビタキやクロツグミのオスが綺麗な大きな声でさえずっています。さえずりは、メスへのアピールや縄張りの主張でオスが出す声です。

姿も見られるかもしれませんが、この時期の野鳥は繁殖期の真っ只中です。驚かしたり、警戒させたりして繁殖に影響することがないように静かに、近づきすぎないように観察しましょう。また同じ場所や、同じ個体を長時間観察することは控えましょう。



## ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



Twitter

## 自然観察路ガイドマップ【春】



ツツドリ

オタルマップ川

エゾアカガエル



ベニマシコ



アオジ



クロツグミ



カワラビワ



アカハラ



エソユキウサギ (夏毛)



キビタキ



ミズバショウ (4月~5月)



クジャクチョウ



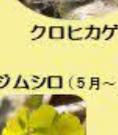
エソヤマザクラ (5月)



キジムシロ (5月~6月)



クロヒカゲ



ニホンカナヘビ



エソマサクラ (5月)

エソノバッコヤナギ (花穂)



スズミ (6月)



フッキソウ (5月)



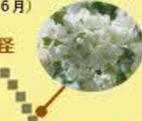
クロミノウグイスカグラ (ハスカップ) (5月~6月)



スズミ (6月)



ハスカップの小径



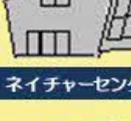
キタコブシ (4月~5月)



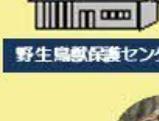
コヨシキリ



ネイチャーセンター



野生鳥獣保護センター



あきまや



隠岐のベンチ



ハンノキのテラス



マガン



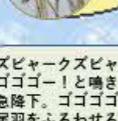
マガン



マガン



マガン



マガン



シマリス



コチドリ



ヒトリガモ (♂)



カワアイサ (♂)



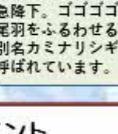
オオジシギ



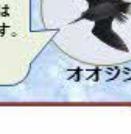
オオジシギ



オオジシギ



オオジシギ



オオジシギ



コハクチョウ



オオハクチョウ



オオハクチョウ



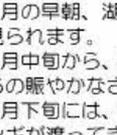
オオハクチョウ



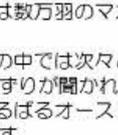
オオハクチョウ



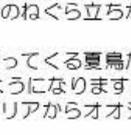
オオハクチョウ



オオハクチョウ



オオハクチョウ



オオハクチョウ

### 春のお薦めポイント

3月の早朝、湖では数万羽のマガンのねくら立ちが見られます。  
4月中旬から、林の中では次々と渡ってくる夏鳥たちの賑やかなさえずりが聞かれるようになります。  
4月下旬には、はるばるオーストラリアからオオジシギが渡ってきます。  
5月下旬、自然観察路の木道沿いにはスズミの白い花が満開になります。



マガンのねくら立ち (3月)